

## 友好交流に関する 盟 約 書

薩摩藩と長州藩は、欧米列強の圧倒的な文明・技術に接した幕末期に、近代技術を習得するため、薩摩スチューデントや長州ファイブと言われる藩の若人をイギリスへ留学させるなど、近代化・工業化へいち早く行動を起こした。

また、西南雄藩の両藩が互いに手を取り合って明治維新を成し遂げ、世界史の奇跡とまで言われた日本の近代化・工業化に大きく貢献した。

昨年7月には、工業化の初期における試行錯誤の実験期の段階を示している両市の資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録された。

こうした経緯を踏まえ、薩長同盟150年を契機に観光、教育、文化、経済など各分野において、相互理解と親善を深め、友好・交流を推進することにより、両市の発展に資するものとする。

以上を互いに確認し、友好交流に関する盟約を締結する。

平成28年（2016年）1月21日

鹿児島市長

萩市長

森 博 幸

野 村 興 児